

# 特殊金属エクセル

## 高性能冷間圧延機が本稼働

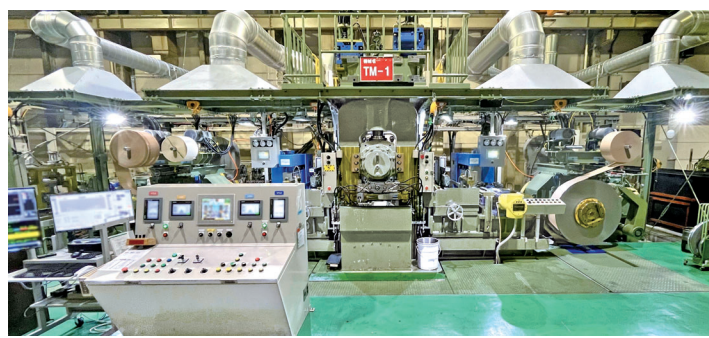
### 高付加価値製品の生産性向上

特殊金属エクセル(本社・東京都豊島区、社長COO・水谷徳次郎氏)は、埼玉事業所(埼玉県比企郡ときがわ町)に自社設計の高性能18-HIGH冷間圧延機「TM-1」を導入。11月から稼働開始し、12月から他量産ラインと同シフト体制に移行した。高付加価値製品の生産性向上が目的で、自社設計の圧延機をベースに形状検出ロールや最新板厚計などの外部技術を導入し、きず・形状・厚み精度といった課題を改善した。投資額は約8億円。

た難製造材の生産体制を整える。

太陽光発電設備の拡充を進める。埼玉事業所では21～23年の3年間で約1億円を投じて約1千キロワット(一般家庭250軒分に相当)の発電設備を導入した。24

～26年の3年間(着工ベース)で新たに埼玉事業所、福井ロジステ



埼玉事業所に自社設計の高性能冷間圧延機を導入

世界最高水準の高強度・高延性ステンレス、金属組織の結晶粒径を1マイクロメートル程度まで微細化させた超微細結晶粒ステンレス鋼「nanosUS」、市場に流通していない特別仕様にグラム単位で対

応する高合金材料な微小サイズの管理や、1マイクロメートルの板厚公差など、極めて厳格な品質基準が求められる用途に対して、より安定した高機能開発材料を拡販する。1マイクロメートルの極

微小サイズの管理や、1マイクロメートルの板厚公差など、極めて厳格な品質基準が求められる用途に対して、より安定した高機能開発材料を拡販する。1マイクロメートルの極

ック(福井県坂井市)、長野営業所(長野県上田市)に太陽光発電設

備を設置し発電能力を約2倍に拡充する。この

は35%削減(13年比)です。埼玉で90キロワット、福井で550キロワット、長野

投資額は約3億円。

